

バンドネオンとギター

～ アルゼンチンタンゴから クラシックまで ～

日 時： 5月1日(日) 13:30～14:30



会 場： 東京富士美術館

出 演： 啼鵬（バンドネオン） ... 異色のマルチ・ミュージシャン
高田元太郎（ギター） ... アルハンブラ国際コンクール優勝

内 容： 「ラ・クンパルシータ」「エル・チョクロ」などのアルゼンチン・タンゴ、
「リベルタンゴ」「オブリビオン」などのピアソラの曲や、クラシック曲など
お届けします。



啼鵬（バンドネオン） てい ほう

東京芸術大学附属高校を経て同大学作曲科卒業。作曲を浦田健次郎、故山田泉、川井學の各氏に師事。芸高在学中は自身がピアニストを務めたロス・ソリスタス・デ・タンゴ・芸高を率いて活躍。

またバンドネオンを独習。葉加瀬太郎、川井郁子、須川展也、live image、あがた森魚、カルメンマキ、安寿ミラなどのツアーに参加。

その他これまでに菅原洋一、芦野宏、阿保郁夫、冨木杏奈などをサポート。2002年には武満徹の唯一のバンドネオン作品「Cross Talk」を再演。

現在はロス・マエストリートス・デル・タンゴのリーダーとして、また広島を本拠地としたモダン・タンゴ五重奏団のメンバーとして活動。

日本で数少ないバンドネオン奏者の1人でありながら、ポップスから現代音楽までのその多彩な活動は、バンドネオン＝タンゴの常識を覆す異色バンドネオン奏者とされる。

また、バンドネオンに留まらず、作編曲、ピアノ、指揮、弦楽四重奏団・佳利クアルテットのヴィオラ奏者、アコースティック・ユニット、といぼっくすのメンバー、フュージョン・バンド「なおとくとていほうくん」など、マルチ・ミュージシャンとしてグローバルな活動を展開中。



高田 元太郎 （ギター） たかだ げんたろう

ギターをJ.L.ゴンサレス、A.カルレパーロ、E.フェルナンデス他に師事。国内で第4回スペインギター音楽コンクール優勝の他、海外ではアルハンブラ国際コンクール優勝をはじめ、主要コンクールに上位入賞を果たす。1993年より4年間、ボリビア国立ラパス音楽院ギター科主任教授を務め97年に帰国。

その後精力的に演奏・教授活動を行う。2001年4月、訳書「カルレパーロ：ギター演奏の原理」を出版（現代ギター社）。同年ソロCD「ブエノスアイレスの四季」を発表。以降「エンニオ・モリコーネ室内楽作品集」他、サクスの大城正司、タンゴ・ヴァイオリンの喜多直毅らのCDにも参加。

またアコースティック・ユニット“といぼっくす”のメンバーとして、CD「あのごころ...日本のマエストロたち」「アストロボーイ・鉄腕アトム～サウンドトラック」をリリース。

現在、現代ギター学院クラシックギター科講師、昭和音楽大学ギター科講師。